

平成26年7月5日開催 意見交換会

質疑応答及び意見

項目	参加者の質問及び意見	議会の応答及び意見
保育園の駐車場について	保育園父母の会のアンケートから駐車場の要望がある。	現状、当局に整備の考えはないことを確認した。問題意識としてはあるが、今後の検討課題として様子を見たい。
住宅取得について	家を持ちたいと思うが、土地の物件がない。住むところについて市全体で考えていただけると、子育て世代が増えるのでは。	市街化区域内での土地の物件は出にくいですが、空き家、空き地を宅地として上手く利用、循環する仕組みは必要と思う。市全体で考えて行くべき課題である。
あゆみの家について	あゆみの家の設備は古いし狭い。療育の場としては良い場所なので、受け入れを広げていただきたい。	6月議会に発達の緩やかな子どもへの支援を求める請願書が提出され、趣旨採択されたので、問題意識を持って提案していく。
予防接種について	任意予防接種で補助になっていないものがあるので、補助対象になると良い。インフルエンザについても補助が受けられるようにしてほしい。	昨年、予防接種に関する請願を趣旨採択し、全国議長会を通じ、国へ意見書を出したが、まだ任意予防接種があるので、補助を可能な限り求めている。予防接種の情報は分かりやすく提供する形で進めたい。
病児保育及び一時預かり施設の充実について	病児保育の日を増やしていただくか、なかよしこどもクリニックが休みの日はどこかでやっていただけるとありがたい。近隣の市町で病児保育を利用するとき、補助をもらえたら良いと思う。子育て世代を大切にしたいのなら検討を。	病児保育は、医療機関で行うことが一番安全であると考えます。北部にも認定こども園が建設されるので、様子を見守り、今後一時預かりについては、問題意識を持って検討していく。
	北部地域でも一時預かりなどの施設を充実してほしい。	
子ども子育て支援制度について	子ども子育て支援制度が導入されるが、子どもたちや保護者にとってメリットやデメリットはどうなのか。	今まで保育に欠ける状態にないと言われた人も、保育の必要性の認定が拡大され、入園の条件が広がったことと、民間の認定子ども園も市の基準を守ると市は答弁している。
	兄弟バラバラで保育されることにならないか。	保護者の希望に応じると市は言っている。
準保育士制度について	国は保育士不足対策として、準保育士制度を導入しようとしているが、どういう保育をされるのか。	準保育士については専門の勉強をしてきた人が保育を担うことで保育の質を下げないといけない。問題があると考えます。保育士の働きやすい環境を作ることが大前提である。
政策立案機能について	政策立案機能を持って、何を優先順位とするか、議会で議論してほしい。	政策問題を立案するために懇談会を開催している。